

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄

内容
<p>「沖縄燦燦」の中で踊られる「マミドーマ」を踊る。ワークショップをとおして作品への関心を高める。（「マミドーマ」は種まき、耕作、収穫作業の喜びや様子をテンポのよい歌と踊りで表現しています。）</p> <ul style="list-style-type: none">・歌や踊りをとおして、表現の楽しさを体験する。・クワ、カマ、ヘラの小道具を使って、耕す、収穫する等の農作業の疑似体験をする。・労働の中から生まれた沖縄の芸能文化や琉球音階を体験する。・日本の地方の言葉（沖縄方言）を使って舞台の1シーンを演じる。 ※資料をお送りします。・ワークショップで仲間と共通の体験をすることによってコミュニケーション力、表現力を身につける。・本公演に共演する生徒のリハーサル。 <p>○ワークショップ参加生徒について</p> <p>ワークショップに参加する生徒の人数について上限はありません。 各学校のご希望をお伺いし、決めて参ります。 ワークショップでは、マミドーマの音楽にのって、仲間とともに働くことや収穫の喜びを歌や踊りを通して身体全体で表現します。 ※本番に出演する生徒は30名以下です。 ※事前に、マミドーマ台本・動画などお送りいたします</p> <p>○本公演に出演する生徒について</p> <p>衣装を着て、小道具を持ちます。 実際の役者さんと共演しますので、本公演前に30分ほどのリハーサルと、15分程度の衣裳への着替えの時間を設ける必要があります。 ※練習用の音源(CDや歌詞カードなど)をご用意いたします。</p> <p>○本公演当日に、全校生徒へ5～7分程度のワークショップを行います。 手踊りを全校生徒で踊ります。約3分程度で、とても簡単で楽しい内容です。 公演の中で全校生徒が踊れるように舞台上の出演者がアテンドします。</p>



タイムスケジュール（標準）

【ワークショップ当日の流れ】

- ①ご挨拶、本公演会場(体育館、搬入口など)の下見など(60分)
- ②対象生徒へのワークショップ(95分・要相談)
- ③ワークショップ終了後、本番当日の流れについてお打合せ(40分)

派遣者数

6名

学校における事前指導

1. ワークショップへの参加人数に制限はなし。
2. ワークショップまでに、本公演で役者さんと共演する生徒を決めていただく。
舞台の大きさの都合上、1名～31名まで。
3. 沖縄燦燦バージョンの「マミドーマ」を録音・録画し、メールやyoutube限定公開で実施校に送付します。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄

演目
～燦燦と輝くいのちの輝き～ 沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」 ○見どころ 琉球舞踊をベースにした優雅で繊細な演技と、時にダイナミックな踊り、あでやかな伝統衣装の早変わり。バイオリン、ヴィオラ、三線、パーカッション、島唄が、働く喜び、生きる喜びを高らかに表現します。沖縄の生活情景を七景にわけた、わかりやすいストーリー展開で、こどもたちへ生きる事の喜びを伝えます。 ○あらすじ 沖縄が琉球王国と呼ばれていた時代。漁師の三良は舟に乗り漁を始めた。陸では、三良の無事を祈る加那がいる。想いが空を飛び、舟を守る。村一番頼りがいのある三良と、おとなしく内気な加那の、不器用で純粋な仲を村の娘たちが密かに応援する。村は小さく貧しいけれど、みんなが助け合い、暖かい心を持っている。豊年祭で自然への感謝と豊作を喜び、祝う。

派遣者数
16名

タイムスケジュール（標準）
【本公演当日の流れ】 ①ご挨拶、諸々確認など ②機材搬入・舞台設営 ③リハーサル（※共演する生徒も参加をお願い致します）※45分程度 ④本公演 ⑤撤収 【本公演の内容】所要時間：70分 / 出演者9名 スタッフ6名 ①全校生徒へ5～7分程度のワークショップ ～「沖縄燦燦」エンディングテーマを踊ってみよう！～ ②本公演参加生徒と沖縄燦燦出演者による「マミドーマ」（8分）から、そのままの流れで「沖縄燦燦」（55分）公演 <参考例>

8:30 スタッフ・出演者入り
8:30-12:30(4時間) 仕込み・舞台設営
12:30-13:00(30分) 子供達リハーサル(※時間帯ご相談可能)
13:00-13:15(15分) 子供達着替え(本番直前)
13:15-13:30(15分) 生徒入場
13:30-14:40(70分) 本公演
14:40-16:40(2時間) 片付け・退室

実施校への協力依頼人員

会場が2階の場合、協力をお願いいたします。

演目解説

～燦燦と輝くのちの輝き～
沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」

第一景 海人(若い漁師)

三良はサバニに乗り込み櫂を振るって
沖をめざし漁が始まる。

第二景 みやらび商い(娘たちの魚売り)

働きものの娘たちはウキウキ箆を頭に載せて
魚を売りに街へ行く。

第三景 ヨーカナヨー(恋の歌と踊り)

森の木陰。想いを伝えあう二人。

第四景 ユイマール(助け合い)

三良が家を建てようとするのを、村人みんなで手伝う。

第五景 にいびち(結婚式)

三良と加奈の祝いの儀式。村人たちと祝う。

第六景 豊年祭(収穫の祝い)

海の向こうから、豊穡をもたらすミルク神がやって来た。

第七景 沖縄燦燦(生きる喜び)

この島とともに、私たちは生きる。
今日という日は黄金のように輝くとても素晴らしい日
平和で豊かな世の中になりますように。



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

沖縄の八重山諸島、竹富島の「マミドーマー」を使って踊りやセリフのワークショップを行う。ワークショップに参加した生徒たちが「沖縄燦燦」の公演の中で、1シーンを演じ舞台を体験する。また、本公演の前に全校生徒向けのワークショップも行い、全員参加型の舞台を創る。

1. ワorkshopに参加できなかった生徒さんのために、観劇する全員に向けて、本公演が始まる前の5分間、歌と手踊り（喜びの踊り）のワークショップを行います。本公演の最後で、一緒に声を出して「さんさん！」という燦燦コールをしたり、手を叩きながら体を動かしたりできるよう、舞台上から出演者が子ども達へ呼びかけます。
2. 本公演に参加する生徒の人数は1-30人で、沖縄の着物を羽織ってもらい、舞台用のへら、かま、クワを持って踊ります。衣装を着たり、舞台道具を持つことで、より文化や伝統に触れる体験をします。
3. 本公演に参加する生徒は、本公演当日にリハーサルを行います。

児童生徒とのふれあい

1. 琉球舞踊の免許を持った出演者から直接、手踊りの指導を受け表現する楽しさを体験します。
2. 本公演では、児童生徒は出演者と一緒に舞台に立ち衣装の着方、舞台道具の使い方を学びます。